

第1回 紀の川市地域クラブ設立準備委員会 開催報告 ～学校部活動の地域展開に向けた第一歩～

紀の川市では、生徒の多様な活動機会の確保や教員の働き方改革を目指し、休日の中学校部活動を段階的に地域クラブへ移行する準備を進めています。このたび、令和8年7月9日に「第1回紀の川市地域クラブ設立準備委員会」を開催し、地域展開に向けた基本方針や関係要綱案の協議、およびワークショップ（KPT手法）による課題の整理を行いましたので、その内容を報告します。

■ 1. 開催概要

日時	令和8年7月9日（木） 15時00分～17時00分
場所	打田地区公民館 視聴覚室
出席者	設立準備委員会 委員11名、事務局9名
役員選定	【委員長】 植田 真帆 委員 / 【副委員長】 保田 明男 委員

■ 2. 主な報告・検討内容

(1) 部活動の地域展開に向けたロードマップ

- 方向性として、令和10年度の9月から休日の学校部活動を地域クラブ活動へ移行することを目指します。
- 令和7年度児童（4～6年生）へのアンケートでは、休日地域クラブへの参加希望が59%にのぼり、半数以上の児童が前向きに参加意向を示しています。
- 現在、先行事例としてハンドボールクラブ「HC Arcus 紀の川」が4月から活動を開始しており、指導者確保（平日対応）、送迎や費用負担（ユニフォーム代等の初期費用約3万円）などの実務的な課題とその対応が検証されています。また、剣道、ソフトテニス、軟式野球、サッカーなどの各競技団体や学校部活動の顧問へのヒアリング、合同活動の調整が順次進められています。

(2) 地域展開を支える制度設計（要綱・規約案の提示）

地域クラブの円滑な運営と指導体制を確保するため、教育委員会より以下の規約案等が提示され、委員から出された意見を参考に SPARC きのかわの体制を整えていきます。

SPARC きのかわ地域クラブ規約案

活動主体の受け皿となる任意団体「SPARC きのかわ」の組織規約。事務局を教育委員会内に設置し、コンソーシアム型で運営。活動日は休日を基本とし、原則週1回とすること。会費を徴収し、遠征費等が必要な場合は各団体が都度集金するシステムを想定しています。

■ 3. KPT ワークショップ成果（グループワークまとめ）

準備委員会の後半では、委員が2グループに分かれてワークショップを行い、KPT（Keep：現状の成果・継続、Problem：乗り越えるべき課題、Try：今後のアクション・試み）という手法を用いて、地域移行を推進するための論点を整理しました。各ステークホルダーにおける主な意見は以下のとおりです。

区分	Keep (現状の成果・継続)	Problem (乗り越えるべき課題)	Try (今後取り組むべき挑戦)
行政	・地域移行の検討・財源検討の開始 ・段階的目標（R10 年秋の休日完全移行）の設定 ・地域クラブ活動指導員の導入準備	・具体的な予算・補助金見通しが未開示 ・練習場所やチーム用具の置き場確保 ・地域格差（種目の偏り）の懸念	・市や那賀地方、和歌山県全体を見据えた広域的な連携体制の構築 ・施設の計画的整備と、認定クラブを支援する制度設計・予算明確化
学校	・目標日に向けた指導員要綱・規約案等の策定進行 ・外部クラブ（水泳等）への移行など、手探りながらの準備進行 ・教職員の理解向上	・学校と地域クラブ、家庭間の情報伝達の難しさ ・平日の部活動と休日クラブ間の連携 ・指導・引率時の急な予定変更や安全確保	・学校と地域クラブの役割分担を明確にし、地域主体で運営できる仕組みづくり ・教員の兼職兼業ガイドラインの整備による、働き方改革の具体的推進

地域 および 家庭	・地域展開の必要性への理解が向上しつつある （アンケートでの児童の参加希望は 59%）	・指導者不足（特に平日も指導可能な地域人材） ・遠征・送迎時の保護者負担の増大 ・会費や個人持ちユニフォーム等にかかる家庭の経済的負担	・地域の教育力を高める取り組みや、クラブを「ふるさと学習」へ接続する工夫 ・持続可能な費用負担や保護者の果たす役割についての理解促進
--------------------------	--	---	---

■ 4. 今後の検討スケジュール

次回の委員会において、今回挙げた課題（謝金の支払い範囲、指導計画・引率等における責任分担、事務局の機能明確化など）を整理し、以下のスケジュールに沿って具体化を進めます。

【第 2 回 準備委員会】 令和 8 年 10 月 29 日（木）予定

（※要綱や規約・ルールの詳細詰め）

【第 3 回 準備委員会】 令和 9 年 2 月 18 日（木）予定

（※新年度からの確実な立ち上げに向けた最終決定）

学校部活動の地域展開は、生徒の多様な活動機会を確保し、地域全体で子どもたちの活動を支える環境づくりにつながる取り組みです。学校教育の負担を軽減するだけでなく、紀の川市全体の「まちづくり・人づくり」として今後も検討を進めてまいります。保護者や市民の皆様のご理解と温かいご協力をよろしくお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ窓口】

紀の川市教育委員会 事務局（紀の川市地域クラブ設立準備委員会 担当）

・教育総務課 ・生涯スポーツ課 ・生涯学習課

※本内容は令和 8 年 7 月 9 日時点の検討資料・審議内容に基づくもので、決定事項は順次市ホームページ等で公開いたします。